

# 富士通グループの校正事業 京西テクノスが買収

## エンジニア 6拠点 100人体制

【立川】京西テクノス（東京都多摩市、臼井努社長）は、富士通グループの富士通ファシリティアーズ（川崎市中原区）、富士通北信コンストラクション（長野市）、富士通栃木コンストラクション（栃木県小山市）との間で、3社の電子計測器校正サービス事業を買収することで合意した。9月1日から京西テクノスの計測エンジニアリング部門として業務を行う。京西テクノスは19年にもNECマネジメントパートナーから校正サービス事業を買収している。

京西テクノスは富士通グループ3社から従業員32人を受け入れ、校正サービス事業のエンジニア100人体制を確立する。富士通ファシリティアーズの事業部員は今夏、京西テクノス本社に移すが、長野・栃木は当面、現状

内6拠点体制となる。また、BCP（事業継続計画）の観点などから、大阪事業所の人員・設備体制を拡充し、東京・大阪の2拠点を軸に展開する。臼井社長は「校正事業会社として国内最大規模をさらに拡大した。修理と合わせたワンストップサービスを充実化させる」としている。同社は19年にNECマネジメントパートナーから校正サービス事業を買収したほか、20年に関西国際空港の保税エリアでサービス開始、今年4月にはアジア圏のサービス展開をにらみ沖縄に拠点を開設するなど事業強化を進めている。



修理と合わせたワンストップサービスを提供する（京西テクノスの校正室）